

## ■応募について

- 別添の申込用紙に必要事項を記入の上、FAX、郵送等で期限までに提出してください。
- 申込用紙は、徳島河川国道事務所（TEL：088-654-9175）に問い合わせただくか、徳島河川国道事務所ホームページ（<http://www.skr.mlit.go.jp/tokushima/>）にてダウンロードできます。
- はがき、メールによる場合は、必要事項を記入の上、申し込んでください。  
（郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号（連絡のとれる番号））
- 応募先は、以下にお願いします。「ご案内」の一番最後にも〈送り先・お問い合わせ先〉を記載しています。
  - ・〒770-8554
  - ・徳島市上吉野町3丁目35
  - ・国土交通省徳島河川国道事務所地域連携課
  - ・「第4回吉野川現地（フィールド）講座」係
  
  - ・Eメール tokusa63@skr.mlit.go.jp
  
  - ・FAX 088-654-9177
- 悪天候の場合は中止する場合があります（この場合事前に連絡致します）。
- 集合場所には各自で来てください。
- 河口干潟には、小型の船舶で移動します。

# 平成26年度 第4回 吉野川現地（フィールド）講座のご案内

## 特定外来生物から吉野川河口干潟の海浜植物を守ろう！

吉野川の河口干潟にはたくさんの生物がすんでいます。しかしここ数年、特定外来生物のナルトサワギク（植物）が河口干潟に大量に繁殖しています。

このままでは在来種であるハマヒルガオやコウボウシバといった海浜植物の生息地が減少することになります。

そこで吉野川のかかえる環境の問題点を知っていただくとともに、地域の皆さんの力を借りてナルトサワギクの抜き取りによる駆除作業を行い吉野川河口干潟の海浜植物などを守るため、吉野川現地（フィールド）講座を開催します。



ナルトサワギク繁殖状況



平成26年度の講座の状況



平成26年度の講座の状況



平成26年度 吉野川現地（フィールド）講座結果

### 開催日時など

日 時：平成26年9月12日（金）9時00分～12時00分（8時30分受付開始 9時受付終了）

募集期間：平成26年8月18日（月）～平成26年8月29日（金）必着

集合場所：徳島市上助任町地先 吉野川新町係船場

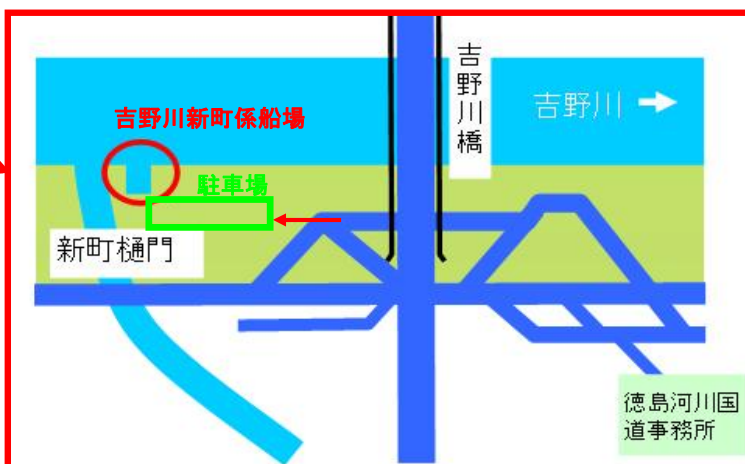
（船の運航の事情により、応募者多数の場合は参加者を制限させていただきます）

作業場所：吉野川河口干潟

持 参 品：長靴、飲み物等（軍手、スコップ等については準備しています。）

※集合場所から吉野川河口干潟までは船により送迎を行います。

※船から吉野川河口干潟に下りる際、船着き場等はありませんので濡れる可能性があります。濡れても大丈夫な格好でお越し下さい。



## フィールド講座とは

「吉野川に住む生き物は？」「あの施設はなあに？」「吉野川の管理はどのようにしているの？」などについて、皆さんと一緒に吉野川に出かけ川の調査や施設などについて説明などを行っています。

## 利用方法

### 1. 募集

新聞、チラシ、ホームページより参加者の募集を行います。



### 2. 徳島河川国道事務所に申込む

「吉野川現地（フィールド）講座」 申込書に必要事項を記入し、郵送、FAX、電子メールまたはハガキで申込む。



### 3. 講座の実施

現地（フィールド）でテーマについて説明します。

## 第4回吉野川現地（フィールド）講座

「吉野川河口干潟の海浜植物を守ろう！」 申込書 FAX、郵送用

1. 住所	〒
	( ) ( )
2. 氏名（年齢）（参加者全員）	( ) ( )
3. 電話番号	自宅 中止時等の連絡先
この講座へのご質問など	
4. ありましたらどうぞ。	

①ハガキ、Eメールの場合は必要事項【郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号（自宅・中止時の連絡先）、講座名】を記載し下記までお申し込みください。

②集合場所までは、各自でお願いします。

### ●共催 吉野川交流推進会議 徳島県

<送り先・お問い合わせ先>

〒770-8554

徳島市上吉野町3丁目35

国土交通省 徳島河川国道事務所 地域連携課

「第4回吉野川現地（フィールド）講座」係

HPアドレス <http://www.skr.mlit.go.jp/tokushima/>

電話：088-654-9175（直通） FAX：088-654-9177

Eメールアドレス：tokusa63@skr.mlit.go.jp（←すべて半角小文字）



## 【参考】

### ■外来種駆除の取り組みについて

- この取り組みは平成21年度より実施しており、今まで6回開催しています。今年度は7月2日に1回実施しており、今回で2回目の実施となります。
- 吉野川の河口干潟では、ここ数年、特定外来生物のナルトサワギク（植物）が河口干潟に大量に繁殖しています。このままでは、在来種であるハマヒルガオやコウボウシバといった海浜植物の生息地が減少することから、地域の皆さんの力を借りてナルトサワギクの抜き取りによる駆除作業を行い、外来種駆除の重要性を学んでいただくフィールド講座を開催します。
- 今年度の1回目では45名の参加のもと、約350m<sup>2</sup>の範囲のナルトサワギクを除去しました。
- 徳島河川国道事務所では、「よりよい吉野川づくり」を目指した取り組みの一環として、流域の皆さんと情報の共有を図るため、平成14年度より、現地において川の調査や河川管理施設などについて紹介する講座を実施しています

### ■ナルトサワギクについて

- ナルトサワギクは、1976年に鳴門市瀬戸町で見つかった帰化植物で、花の特徴からサワギク属の一種であることがわかり、ナルトサワギクと名付けられました。その後（約20年後）、学名 *Senecio madagascariensis* という、原産地がマダガスカル産のものということがわかりました。
- 背丈は、30～70cm、枝をはって伸びます。背丈の低い時期から一年中花を咲かせています。花の大きさは、2～2.5cmで鮮やかな黄色をしています。葉の形はいろいろで、ふちにぎざぎざがあるものが多く、日当たりのよいところで大きく広がって生えます。よく生えるのは海辺の荒れ地や河原などです。
- 特定外来生物に指定されています。特定外来生物とは外来種の中でも特に、生態系、人の生命・身体、農林水産業へ被害を及ぼすもの又は及ぼすおそれのあるもので、外来生物法で指定されている種です